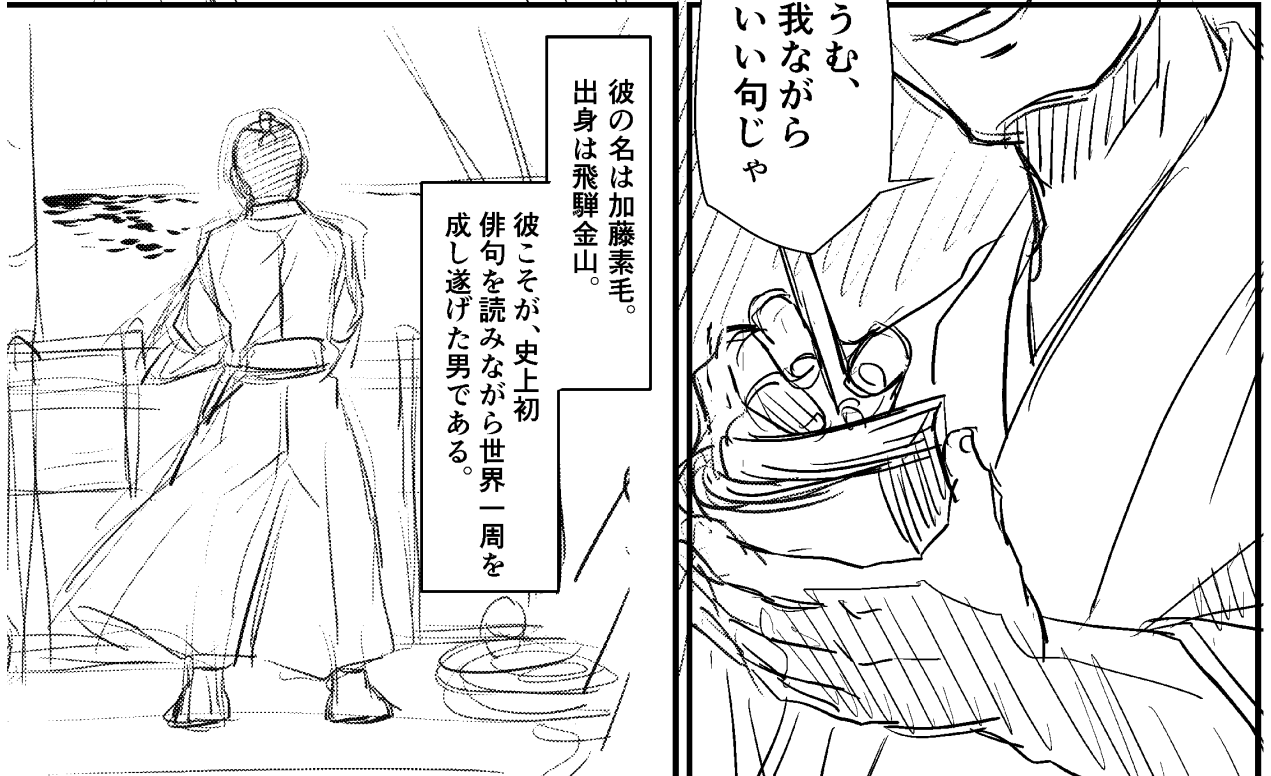




時は幕末  
安政7年1月26日(1890年2月16日)  
天気は晴れ 気温摂氏10度  
北緯35度51分29秒 西経155度54分  
北太平洋

アメリカの軍艦ポーハタン号の  
船上に彼の姿はあったー

異国の世見に翌日乃  
首途可那  
(とつくにのよみにあすの  
かどでかな)



うむ、  
我ながら  
いい句じゃ

彼の名は加藤素毛。  
出身は飛騨金山。

彼こそが、史上初  
俳句を読みながら世界一周を  
成し遂げた男である。

▶「幕末に世界一周やってみた」第1話ラフ(1ページ目)

# 加藤素毛伝承マンガ 「幕末に世界一周やってみた」を連載!

下呂市では平成30年度より清流の国ぎふ推進補助金を受け、下呂市出身で日本人初の世界一周に随行した俳人・加藤素毛（かとうそもう）を伝承する事業を進めています。

## 加藤素毛とは

加藤素毛は1825年、下原郷17ヶ村の兼帯名主を勤める加藤三郎衛門雅文の次男として生まれた。

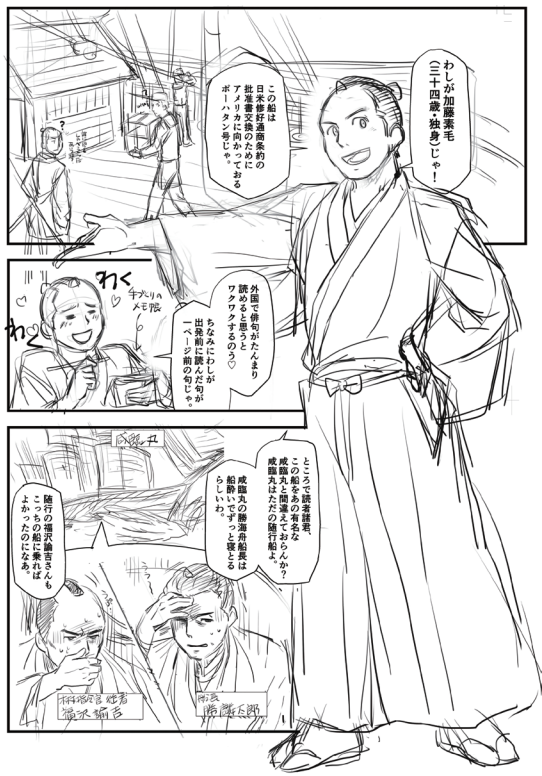
1860年に日米修好通商条約批准書交換を目的とした幕府遣米使節随行員77名の1人として米軍艦「ポーハタン号」で品川沖を出航した。ハワイ、サンフランシスコ、ニューヨークなどを巡り、喜望峯経由でジャワ、香港などに立ち寄った後、無事に日本に帰国した。

素毛はたいへん筆まめで、見聞の全てを日記、和歌、俳句、絵画に書き遺している。

## 加藤素毛記念館

加藤素毛の旧生家を建て替えたこの記念館には、素毛が書き遺した航海日記や旅のスケッチ、俳句などが収蔵され一般公開されています。

◆開館日：毎月1日、15日



▶「幕末に世界一周やってみた」第1話ラフ（2ページ・3ページ目）

その事業の一環として、親しみやすいマンガで加藤素毛を表現していきます。マンガを描いていただくのは公募により選定された秋桜先生。

平成31年4月から令和2年3月までの12カ月間、毎月インターネット上で公開していきます。

（毎月15日前後に公開予定）第1話はすでに公開されていますので、ぜひご覧ください。

